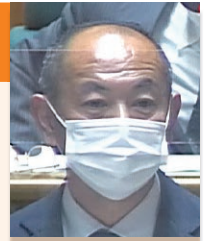


アクティブマネジメント・公明クラブ



質問者
松浦昌巳

GIGAスクール構想実現に向けたタブレット利用法は

Q 今後、デジタル化が推進される中で、一人一台タブレットは学習面での活用以外に、悩みや心のサポートなど教師と児童生徒、学校と家庭をつなぐことはできないか。

A 家庭の心配事の相談にも活用しよう

A タブレット端末は学校だけでなく、家庭に持ち帰り活用できるようにし、学習面だけでなく、家庭の心配事も双方向通信機能を利用して担任へ相談できるようにしていきます。

「防災意識の高いまちづくりを推進する条例」の効果と課題は

Q 「防災意識の高いまちづくりを推進する条例」の効果と課題、今後の取り組みについて伺う。

広く市民の防災意識の高揚に努めていく

A 「家庭の避難計画」の作成率が46.3%であるため、さらなる積極的な周知が必要と考えています。常日頃から災害を「我がこと」として意識し、「家庭の避難計画」作成の推進を図るとともに、事業所等においても、防災の発信を行うなど、引き続き、事業所と行政が協働し、広く市民の防災意識の高揚に努めていきます。

緑茶の効果・効能の研究成果と展望は

Q 緑茶の効能、効果などあらゆる研究が実施されているが、現在の研究成果と展望を伺う。

A 茶業活性化に結びつくことを期待する

A 県の研究機関と県立大学で緑茶の新型コロナウイルスの感染阻害効果を研究しています。この研究成果の発表によりお茶の需要が増加し、茶業活性化に結び付くことを期待します。

【その他の質問事項】

・コロナ禍における市民との協働、連携について

共に創る掛川



質問者
鈴木久裕

松井市政3期12年の総括

Q 前進した、達成した、成し遂げたと評価している政策課題を伺う。

A 協働のまちづくりの仕組みを構築し、その理念を市民や事業者に浸透させて、様々な政策課題の前進や解決を図ってきました。健康医療については、中東遠総合医療センターの開院、希望の丘の開設など、先進的な取り組みを行いました。子育て支援については、認定こども園などの整備が進み、子育て総合案内サイトなどの様々なソフト施策も充実し、大きく前進した政策と捉えています。

Q 次期政権に申し送りすべきと考えている課題を伺う。

A 喫緊の課題としては、ワクチン接種をはじめとする新型コロナウイルス対策が挙げられます。また、地方分散の受け皿づくりやデジタル化の推進、カーボンニュートラルに向けての

取り組みや、廃棄物処理施設の検討などの政策課題があります。さらには、持続可能なまちづくりの取り組みを進めていく必要があると考えています。

Q 関係条例が未整備である板倉、上内田4区、南郷、倉真の4財産区について、ほか正規の4財産区と併せ、地域住民や市民との情報共有のあり方、今後の財産区のあるべき姿を伺う。

A 財産区の活動を継続させていくため、幅広い周知と地域住民が参加する仕組みづくりを各財産区の役員と検討していきます。財産区は、独立した法人格を持つ特別地方公共団体です。区有地の有効活用により、住民主体の地域づくりがさらに進むことを期待するとともに、適正な予算執行、監査により掛川市全体のバランスと透明性の保持を図っていきます。

【その他の質問事項】
・新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について

